

浪江町復興計画【第三次】後期基本計画策定に係る町民ワークショップについて

【テーマ】 前期基本計画における取組評価と後期基本計画づくりに向けて

(1)時 期	10 月中開催予定	
(2)回 数	3回(各会は同じ内容で実施)	
(3)参加者数	30 名程度/回を想定	
(4)周知・申込方法	町ホームページ、広報等による周知・公募	
(5)会 場	1回目	町内(浪江町役場)
	2回目	町外(いわき市 or 中通り)
	3回目	町外(いわき市 or 中通り)
(6)内 容	▶ 2時間程度を想定 ▶ 目的、開催概要を説明。 ▶ 事業評価結果について報告 ▶ ワークショップを実施 (ワークショップのイメージ)   (参考:F-REI の立地を踏まえた浪江町の未来を考える住民ワークショップ) ※第 2 回外部策定員会時に詳細な内容をお示しする予定。	

■ワークショップの進行イメージ(事務局用)

事 項	概 要
(開始前)	参加者を復興の基本方針に基づき設定した5つのグループに誘導 ※ グループのイメージ 1.夢と希望のある産業と仕事づくり ⇒キーワード:産業振興／農林水産業／観光 2.未来を担う人づくり ⇒キーワード:教育／生涯学習／子育て／文化／震災伝承 3.帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり ⇒キーワード:まちづくり／市街地整備／基盤整備／防災／防犯・交通安全／環境負荷低減 4.健康と福祉のまちづくり ⇒キーワード:健康／医療／介護・福祉 5.絆の維持と持続可能なまちづくり ⇒キーワード:絆の維持／移住・定住／コミュニティ
開 会 (10 分)	町からワークショップの目的・位置づけ、開催概要を説明。 その後、参考情報として事業評価結果の概要を報告。
WS 開始 (20 分)	▶ ワークショップの進め方の説明(テーマ、時間配分、最後に発表があること、ワークショップでのルール 等) ▶ グループ内で自己紹介(地区、お名前)。その後自己紹介を踏まえて今日のグループ内での司会(進行役)を話し合って決定。
テーマ1 (30 分)	浪江町の「いいところ」「よくなってほしいところ」 ▶ 事業評価結果を参考に、各グループに関連する分野・取組のいいところ、よくなってほしいところを参加者ごとにポストイット(ふせん)に書き出す (留意点) ※ポストイットには名前を書いてもらう ※いいところも必ず書いてもらうようにお願いする ▶ キーワードごとにポストイットを整理して模造紙に貼り付け、その後参加者の思い・考えを発言
テーマ2 (30 分)	浪江町で必要な取組について ▶ 参加者を含む町民や関係者が力をあわせて浪江町の未来をよりよくするために、行政(町・県ほか)に必要な取組をポストイットに書き出す ▶ 多くの取組が挙げられている場合は、特に大事な(重要な)取組を話し合う
発 表 (20 分)	参加者が各グループで話し合った内容について発表。
閉 会 (5分)	町から今後の検討予定、ワークショップ結果の活用方法 等について説明